

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」清須校		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・丁寧なフィードバックを行うことによってリアルタイムで情報を共有したり、困り感に寄り添うことができ、保護者様の信頼を得ている。	・十分に時間を取り、保護者様の困りごと等を聞き取っている。 ・対面式のモニタリングを実施し、個別支援計画に反映させている。	・事業所内相談を積極的に行う。 ・学校との連携を強化すべく、見学の機会をつくる。
2	・個別療育をメインで行っていることもあり、利用者様ごとの課題やニーズに具体的にアプローチをする質の高い療育を提供している。	・指導員同士で支援内容について相談したり、話し合いをしている。 ・利用者様に合わせて教材研究を行い、支援に活用している。	・利用者様のニーズに合った社会資源について情報提供を行う。 ・就労に向けて他事業所や相談支援との情報交換・連携を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニングや兄弟家族向けのイベントの開催はできていない。	・十分な準備時間や人員をイベントに割く余裕がない。	・担当者会議や授業参観等から学校との接点を作っていく。
2	・事業所で行っている非常時に関する対応が保護者には認知されにくい。	・防災計画や避難訓練の実施等、事業所で行っていることの周知が不十分。	・事業所内で実施している避難訓練や事業所外でのイベント情報を保護者に伝わりやすい方法(フィードバック時でのお知らせやLINE)で周知する。
3	・支援室の上部が開放されており、隣の部屋の声などが聞こえてしまう。	・建物の構造を変えることができない。虐待防止の観点からも塞ぐことが難しい。	・状況に応じて使用する部屋を変更するなど臨機応変に対応していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」須須校

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数

50

回収数

42

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1  こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	9	1	1	・パーテーションの場所などは、全部声など聞こえたり見えたりしてしまうのが気になります。 ・机上で活動が多いものの、もっと広いスペースがあることで活動の幅が広がるように思う。	スペースに関しては現状を変えることは難しいですが、利用時間を調整する等の工夫をしております。
	2  職員の配置数は適切であると思いますか。	29	12	0	1	人手不足で仕方ないが、以前より利用がしにくくなったのが残念。	ご不便をおかして申し訳ございません。1日の利用上限数やお子様の安全を守った上でより多くの方にご利用いただけるように工夫してまいります。
	3  生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	7	0	1	部屋によっては、パーテーションのみで区切られており、待ち合いスペースから見えてしまうことがある。	障害特性に応じて最適な環境を整えるように配慮してまいります。
	4  生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5  こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	4	0	0	・仕事をよくやっていたのですが専門性があるのか分からない。必要があるとは思えない。 ・子供の特性に合わせて問題を作ってくれてると思う。	活動のねらいをフィードバックの中でより丁寧に伝えて理解を得られるようにしてまいります。
	6  事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	41	0	0	1		
	7  こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	1	0	0		
	8  放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	1	0	0		
	9  放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39	2	1	0	支援計画は納得しているけど、支援に沿った内容がある時とない時があるように感じる制作が季節ごとであり、時間がとられているように思う。	活動のねらいをフィードバックの中でより丁寧に伝えて理解を得られるようにしてまいります。
	10  事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	4	0	1		
	11  放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	9	18	9	ないのはやむ無しだと思う。交流は学校の役割だと思っているので、特段望んでいない。	保護者の方からの要望等がございましたら機会を検討させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12  事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	2	0	0		
	13  「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40	1	0	1		
	14  事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	12	9	9	以前開催された特例子会社の見学会や勉強会など、親に向けたプログラムがあれば、ぜひ参加したい。	今後も開催に向けて検討してまいります。
	15  日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	39	3	0	0	フィードバックがあるので、話す機会があるのであります。	今後も丁寧なフィードバックを心掛けてまいります。
	16  定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39	3	0	0		
	17  事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	2	0	1		
	18  父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	17	8	10	親同士の交流や、先輩ママの話を開ける場があるとうれしい。	交流テーマや対象年齢等を明確にして参加しやすいイベントの開催を計画してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	4	1	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	7	1	13		ホームページやInstagram等で定期的に更新し掲載しております。今後より清須校の活動を知っていただくための工夫をしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	2	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	4	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	5	0	12		年に数回、避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	4	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	3	1	9	その様な事が今までなかったのわからない。	対象の保護者の方に向けて利用時間内にご説明しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	41	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	12	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	40	2	0	0	概ね満足だが以前より振替の枠が狭まり残念。	ご不便をおかけして申し訳ございません。1日の利用上限数やお子様の安全を守った上でより多くの方にご利用いただけるように工夫をしております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」清須校		公表日		2026年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎月1回、職員全員でミーティングを実施して業務改善に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎月1回、職員全員でミーティングを実施して業務改善に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回、内部監査を実施しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		毎月実施されている本部研修に参加する環境が整っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		モニタリング時期に保護者と対面での面談時間を設け、保護者の感じていることやニーズを確認しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		モニタリング時期に保護者と対面での面談時間を設け、個別支援会議も実施しチームで検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じてチームで行っております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、朝礼の時間を設定し支援の内容や役割分担について確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング時期に保護者と対面での面談時間を設けて作成にあたっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			保護者及び関係事業所からのご要望がございましたら対応させていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			保護者及び関係事業所からのご要望がございましたら対応させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			ご要望がございましたら機会を検討いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		ご要望がございましたら開催を検討いたします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		ご要望がございましたら機会を検討いたします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				